記者発表資料

平成２７年　６月　５日
国　土　交　通　省
南 三 陸 国 道 事 務 所

三陸沿岸道路（釜石山田道路）
大槌第２トンネル(仮称)において掘削土(岩砕)の盛土工事に着手します

○大槌第２トンネルでは、自然由来のヒ素を含む掘削土(岩砕)について、学識者の検討委員会で承認を得た処理対策により盛土工事に着手します。
（別紙－１及び別紙－３）

○掘削土(岩砕)は、大槌町区間の釜石山田道路の盛土に利用します。
（別紙－２位置図）

１．盛土工事着手について

・盛土工事の着手は、平成２７年６月６日を予定しています。（別紙－2盛土区分Ⅱ①）

・盛土工事に着手するにあたり、大槌町並びに盛土箇所に隣接する地権者に説明し了解をいただいております。

・工事期間中並びに完成後に環境安全性を確認する環境モニタリング(水質)を行います。

・現在、大槌第２トンネルの掘削土(岩砕)において、基準を超えるヒ素は確認されておりません。

【発表記者会】

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省 南三陸国道事務所

〒 026-0301 釜石市鵜住居町第 13 地割 1-4　（代表）電話：０１９３-２８-４７３１

副　所　長　　山口（やまぐち）　満（みつる）　（内線２０４）

工 務 課 長　　田口（たぐち）　秀美（ひでみ）　（内線４１１）

南三陸国道事務所のホームページ　http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html

別紙－１

大槌第二トンネル掘削土の処理に関する検討委員会

委員会名簿

（敬称略・順不同）

（委員長）

なかざわ　ひろし
中澤　廣　　岩手大学大学院　工学研究科　教授

（委員）

いのうえ　ちひろ
井上　千弘　　東北大学大学院　環境科学研究科　教授

かざま　もとき
風間　基樹　　東北大学大学院　工学研究科　教授

あなん　しゅうじ
阿南　修司　　独立行政法人　土木研究所　地質・地盤研究グループ
特命事項担当　上席研究員

（行政委員）

さとう　かずのり
佐藤　和徳　　国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所長

（事務局）

国土交通省東北地方整備局 南三陸国道事務所

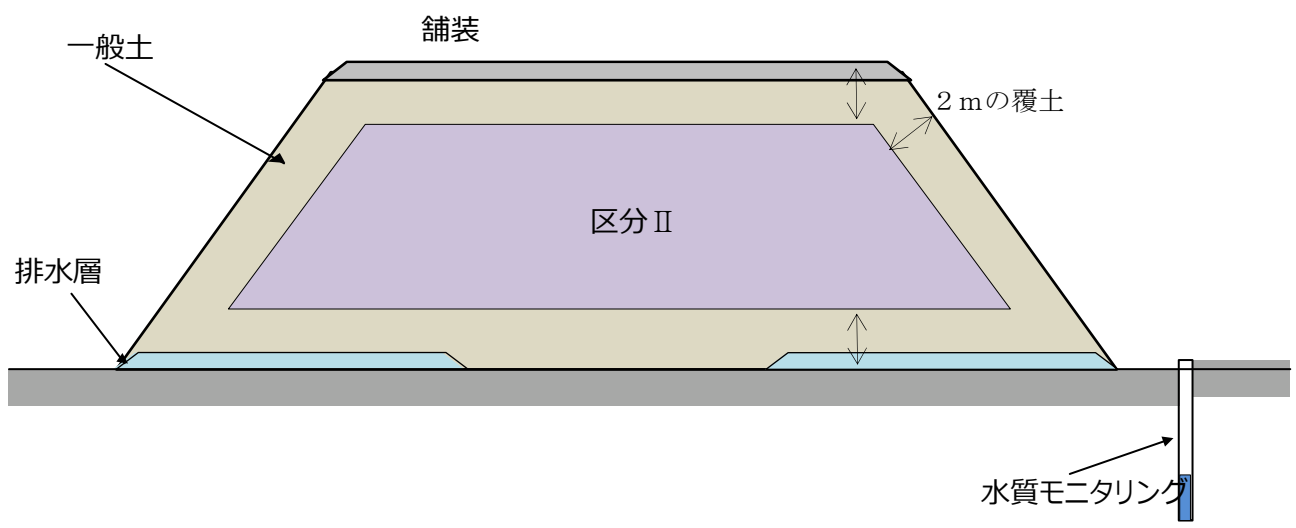
別紙－２

大槌第2トンネル より掘削した岩砕を利用した盛土箇所（区分Ⅱ・Ⅲ）

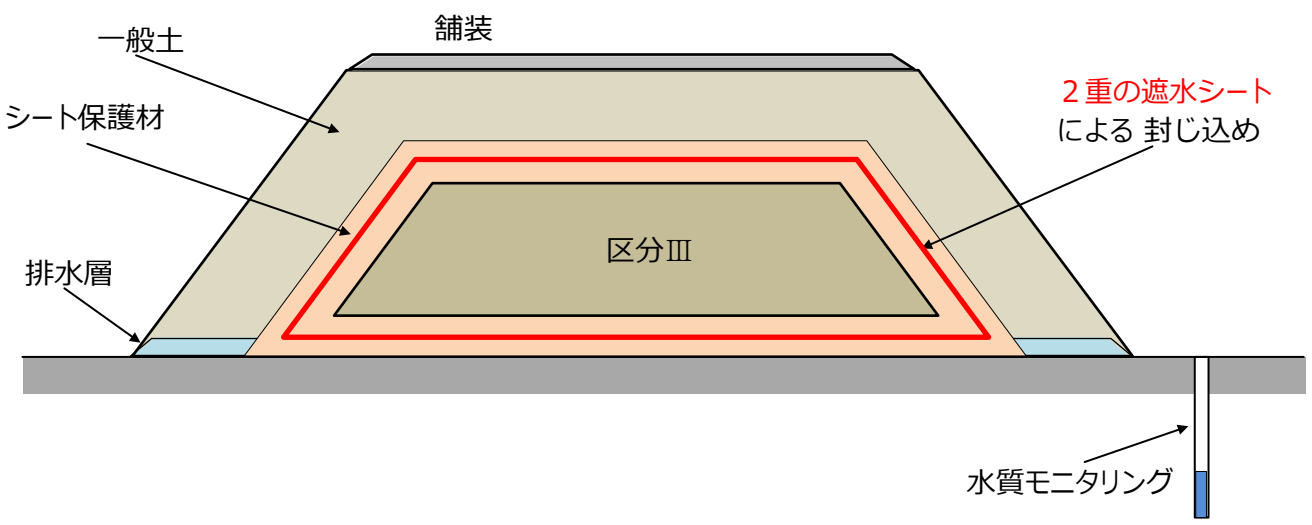


別紙－３

盛土区分Ⅱの盛土イメージ



盛土区分Ⅲの盛土イメージ



盛土区分Ⅰ：一般土として盛土に利用

盛土区分Ⅱ：厚さ２ｍの一般土で岩砕を覆土する方法（水質モニタリングを実施）

盛土区分Ⅲ：２重の遮水シートで岩砕を封じ込める方法（水質モニタリングを実施）

（溶出量試験による盛土利用区分）

確認方法 / 盛土利用区分	ヒ素の溶出量試験（基準値：0.01mg/L 以下：土壌汚染対策法の基準値を準用した値）	
	① 土壌を想定した試験 ※ 1	②岩砕の盛土を想定した試験 ※ 2
盛土区分Ⅰ	0.01mg/L以下	－
盛土区分Ⅱ	0.01mg/L超過	0.01mg/L以下
盛土区分Ⅲ	0.01mg/L超過	0.01mg/L超過

※１：環境省告示第 18 号試験に準拠し、岩砕を 2mm 以下に粉砕した試料で試験
※２：岩砕を 40mm 以下に調製した試料で、JIS K0058-1(2005)利用有姿による試験
（検討委員会において承認された試験方法）